

**【熊本 S. J. C. D. 例会 抄録】**

演題 パーシャルデンチャーセット後、インプラントによる咬合再構成へ  
治療計画が大きく変更になった症例

演者名：古田洋介

日付：平成22年7月27日

**Key Word**

1. ソケットリフト
2. 歯冠延長術
3. バーチカルサポート

**抄録**

もともと一般的な虫歯の治療とクラウンブリッジのやり変えを希望して、2008・5に来院された51歳の女性ですが、不十分なコンサルテーションと患者の意識の変化によって、当初とは大きく異なる治療計画に変わりました。

よって、治療が後手に回ったり、初診時の資料が不足するなど、治療やケースづくりにも支障をきたしましたが、何とか2010・6に最終補綴を終えました。

さて、欠損補綴にインプラントを用いるのは、今や当たり前のオプションの一つですが、同時に埋入したインプラントに対する天然歯のバーチカルサポートについては、補綴設計を含めてその予知性が分かりにくく、自分の少ない知識と臨床経験に頼っているのが現状です。

インプラントをするたびに欠損もまた増えていくようなことは出来るだけ避けたいものです。

諸先生方のご意見、ご指導よろしく申し上げます。